

かけ橋



令和5年9月30日
小平市立小平第八小学校
10月号

<https://www.kodaira.ed.jp/08kodaira>



**初めて体験する「ろくむし」はスリル満点！
「走る」「よける」「投げる」…様々な力が
身につきます。そして、何より楽しい！**

外遊びもたのしいよ！

校長 井口 修

本校では児童数と校庭の広さの関係で、毎日校庭で遊べません。外で遊ぶ機会が減ったからでしょうか。ひと昔に比べて外遊びのバリエーションが減りました。外遊びに積極的な子と、そうでない子の2極化も進んでいます。

その中、本校の教職員が「何とかしたい！」と立ち上がりました。体育部の教員を中心に「外遊びの楽しさも伝えよう」と「朝の運動遊びタイム」を企画しました。朝学習の時間を月3回活用し、様々な外遊びを体験できる「場」を準備しました。

5月は「投げる遊び」を3種類、6月は「フラフープ」「ゴム跳び」「大なわ」「30m走」と様々な運動遊び、9月は「ドンジャンケン」「ろくむし」、と計画的に進めています。

この活動の良いところは、上級生と下級生のペア学年で実施していることです。上級生が下級生にやり方を教えたり、困っている子を助けたり、少し手加減をして盛り上げたりしています。カッコいい上級生の背中を見て、下級生が育っていく、とうれしく思います。

体育主任に思いを聞いてみました。「まずは、いろんな外遊びがあることを伝えたい。その中から自分の好きな遊びと出会い、外遊びも楽しいことを伝えたい。そして、自分からすすんで運動したいという気持ちを育て、運動の日常化も図りたい。」と熱く語っていました。さらに「体育部で企画したら、担任をはじめすべての教職員が協力してくれ、準備や声かけをしてくれている。それがうれしい。」と言っていました。子どもたちの現状を見て、何とかしようとする八小の教職員を、私は誇りに思います。

結びに、今月は運動会があります。今回は、武蔵野大学様のご厚意で八小の隣、広い芝生のグラウンドで全校児童が一堂に会して全力を尽くします。八小のリーダー6年生が、どのような運動会にしたいか考え、種目や係活動をどうしていくのか、児童発案で準備を進めていきます。全校児童に向けた、皆様の熱い応援をお願いいたします。



**楽しんだ後、上級生は片付けもしっ
かり行います。その姿を見て、下級生も
自然と育っていきます**

10月の生活目標

「廊下は右側を静かに歩こう」

学校には、たくさんのきまりがあります。子どもたちの中には窮屈に感じる人もいますが、どのきまりもみんなが安心し、安全に学校生活を送るために大切なものです。今月の生活目標である「廊下は右側を静かに歩こう」もその一つです。学校のきまりの意味を理解し、きちんと守れる人は、他の人への思いやりの気持ちが育ち、校外でもその態度で生活することができます。一方、学校の廊下を走ってしまう人は、道路や公共の施設などでも走ってしまうのではないのでしょうか。廊下歩行の大切さから、きまりの意味を理解できる子どもを育てます。ご家庭でもぜひ、話題にいただければと思います。

生活指導主任

【読書週間について】

10月30日（月）から11月17日（金）まで、八小の秋の読書週間です。新しい本が500冊入ったこの期会に、新しい本と出会ったり、読書の世界を楽しんだりしてほしいと思います。この期間には、以下のことが予定されています。

■一人3冊まで本の貸し出し。

■図書委員会が企画する「読書好きを増やすイベント」や保護者の方による読み聞かせ。

■図書ボランティアの方に作っていただいたしおりのプレゼント。春の読書週間でも大人気でした！

■八小の先生によるおすすめ本の紹介ポスターを2階渡り廊下に掲示中。実際の本は図書館入口付近に設置。

新刊本の貸し出しが10月1日より、始まっています。また、学校司書の藤原先生、図書委員会、図書ボランティアの方々の季節の装飾により、開館したばかりの4月当初に比べて、図書館内にもぎやかな雰囲気になってきました。絵本コーナー付近には座って読めるクッションコーナーも新しくできました。これからも大勢の皆さんに図書館を楽しんで利用してもらえるようにしていきたいと思っています。

朝読書や各教科、ちょっとした時間を上手に活用し、児童の皆さんがすてきな本とたくさん出会い、読書を楽しむことを期待しています。

（行事等の状況により、変更する場合があります。）

司書教諭

【給食室より】

夏休みの話になりますが、市内のある直売所に立ち寄る機会があり、そこには約10種類くらいの野菜や果物が置いてありました。トマト、なす、モロヘイヤ、すいか等、スーパーでよく見かける野菜や果物だけでなく、万願寺とうがらしや賀茂なすといった普段スーパーであまり見かけない野菜が販売されていました。うりが置いてあったので、私はてっきり冬瓜だと思い、売り場の方に「冬瓜ですか？」と質問したところ、売り場の方は「はぐらうりですよ。」と教えてくれました。「はぐらうり」という野菜を初めて聞いたので、野菜の名前を聞いてもなかなか覚えられません。しかし、名前の由来を聞いたら名前を覚えることができました。歯がぐらぐらしている人でも食べられるほどやわらかなうりなので、「はぐらうり」と名づけられたそうです。今まで食べたことがない野菜だったので、「どんな味の野菜か食べてみたい。」と思い、はぐらうりを購入しました。私は、はぐらうりを塩もみしてから切って塩昆布をまぶし、はぐらうりの塩昆布和えにして食べました。すべらかでうりにしてはやわらかい食感だったので、夏の暑い日でも食べやすい野菜だと感じました。

夏休みの出来事を紹介しましたが、子どもたちにとって、給食がこの紹介した出来事に近いものがあるのではないかと思います。学校の給食では食に関することを学ぶため、様々な種類の食材を使いますので、子どもたちが給食で初めて食べる食材があるでしょう。初めての食材を食べた時は、食材の見た目や味、食感など、とても印象に残りますので、子どもたちに「おいしい！」と思ってもらえることが大切だと考えています。また、初めて食べた時に「苦手だな。」と感じても、年齢を重ねるごとに苦手だった食材がふとした時に食べられるようになることがあります。なので、子どもたちには苦手なものでも一口は食べてみることに挑戦してほしいです。給食を通じて、子どもたちが食の幅を広げていけるように、安全でおいしい給食の提供に努めていきます。

栄養士

【『八小C・Sだより』について】

毎月初めに家庭数で配布していた「八小C・Sだより」ですが、ペーパーレス化に伴い、小平八小のホームページ上に掲載することになりました。10月号からは本校ホームページからご覧ください。従来通り、紙での配布を希望される方は、学校までご連絡ください。